

議会議だよりすその



麦塚区の見目神社での焼納祭(人形供養)

題字制作

東西公民館書道講座

打越ゆかりさん

6月定例会

令和8年8月号

No.164

発行:裾野市議会

主な内容

6月定例会の審査内容
一般質問で市政を問う

委員会審査の概要

総務分科会

補正予算における財源調整の考え方 (財政課)

問 4,500万円の減額補正となっているが、市全体の財源バランスはどのように調整されたか。

答 年度が始まり国から内示を受けた外部要因などの影響で、事業の進捗に影響がでないよう市全体で財源を最適に配分し直した補正である。

物価高騰対策の2事業 (戦略推進課)

問 バス・タクシー利用助成券交付事業と省エネ家電買い替え補助事業の2事業に配分を決定した狙いは。

答 外出機会が減っている高齢者への支援と、電気代高騰を見据えた省エネ家電への買い替えによる継続的な負担軽減の観点から2事業を採択した。

省エネ家電買い替え補助事業の対象 (生活環境課)

問 対象の生活家電として、エアコンと冷蔵庫を選定した理由は。

答 対象家電は家庭内消費電力量が上位の2品目であるため。



買い替えイメージ図

厚生文教分科会

文化センター大ホールリニューアル (生涯学習課)

問 文化センターの安全対策とリニューアル時のセレモニーの詳細は。

答 スプリンクラー事故の対策は水圧を逃がす施工

をし、消防の確認を得ている。リニューアル時のセレモニーは、オーケストラの演奏や市民参加の合唱などを予定しており、その委託料を計上している。

生涯学習センター学習室3の使用開始 (生涯学習課)

問 2階パソコン室を学習室3として供用するが、使用料の根拠と開始の時期は。

答 生涯学習に資する団体は減免と合わせて、使用料が団体活動室と同等になるように設定している。使用開始は、整備期間を見越して8月1日からを予定している。

部活動の地域連携推進 (学校教育課)

問 県からの補助金の増額を割り当てる形だが、背景と期待する効果は。

答 国の方針により増額されたもので、地域指導者への謝礼14人分455時間を見込み、中体連前の練習の強化をする予定である。

寄附金活用によるおもちゃなどの購入 (子育て支援課)

問 寄附活用の経緯と寄附者の表示は。

答 利用者からの要望や満足度につながるもので、タイミングがあったため寄附を活用する。購入後はおもちゃなどの物品に寄附者の表示などをする予定である。

産業建設水道分科会

交通空白解消実証事業 (都市計画課)

問 令和7年度に須山地区で行った実証実験を踏まえ、令和8年度に交通空白解消実証運行事業を拡大する根拠は何か。

答 乗車実績や住民ワークショップの意見を踏まえ、今年度は、須山地区からの広域的な運行ルートの検討に加え、区域型運行を導入するなど運行方式を

拡充した新たな実証事業を行うことで、令和9年度の地域公共交通計画改定へとつなげるため。

合同就職相談会
(産業イノベーション推進課)

問 御殿場市・小山町との2市1町合同就職相談会の費用負担は。

答 事業費を200万円余りと想定。当市の参加見込み企業数をもとに按分し、当市の負担金は56万円となる。

平松深良線への影響 (建設課)

問 社会資本整備総合交付金の減額内示が続く中で完了予定への影響は。

答 現在は令和11年度完了を目指しているが、今後、完了予定時期の見直しを行い、事業認可の延伸を考えていく必要がある。

民間提案を優先した事業実施
(駅周辺整備課)

問 裾野駅西土地地区画整理事業で都市構造再編集集中支援事業費補助金が減額となった要因は何か。

答 補助金を活用して整備する計画だった公共施設を、優先交渉事業者の提案にあわせ、民間活力によるものに変更したことなどが影響している。

給水車導入に向け、車庫兼防災倉庫の建設(上下水道経営課・工務課)

問 車庫兼防災倉庫の設計委託費を令和8年度当初予算に計上せず、6月補正とした理由は。

答 給水車の納車期間など社会状況の変化が当初予算策定後に明らかになったため、最短での導入を図るべく設計委託から着手するため補正とした。

国庫補助金減額の要因は
(上下水道経営課・工務課)

問 下水道事業で社会資本整備総合交付金が減額内示となった理由は。

答 国全体の配分状況によるもの。減額分については整備計画上国から受け取れる補助金の枠は残っているため、国と調整しながら、次年度以降対応していきたい。

下水道料金改定(上下水道経営課)

問 経費を使用料から賄うための下水道使用料16.4%の改定で、段階的に引き上げる議論はあったのか。

答 令和3年1月に行った第1回改定が維持管理費相当分のみに留めた段階的な改定である。今回はその延長線上にある第2回目の改定で、既に段階的な改定の一部を構成している。

市議会HPでも
審議結果が見られます▼

令和8年6月定例会の審議議案と結果



全会一致の議案

議案番号	議案の内容	結果
報第1号	令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 道の駅基本計画策定業務委託、食料品等物価高騰負担軽減事業、物価高対応子育て応援手当支給事業など、14件、合計3億6,059万4千円を繰越し報告する。	了承
報第2号	令和7年度企業版ふるさと納税地方創生特別会計繰越明許費繰越計算書の報告 岩波駅周辺地区まちづくり事業推進支援事業及び市道1-12号線道路改築事業など、合計5事業、4億3,500万円を繰越し報告する。	
報第3号	令和7年度下水道事業会計予算繰越計算書の報告 複数年度にかかる工期の契約を締結したため、マンホールポンプ場・ポンプ改築工事460万円を繰越し報告する。	
報第4号	土地開発公社の経営状況 令和7年度の決算など、報告する。	
承認第2号	専決処分 令和7年度一般会計補正予算(第9回)(専決第2号) 制度廃止された自動車取得税交付金の交付決定を受けたことにより、当該の歳入項目を設置する必要があるため、令和8年3月31日、専決処分した。	承認
承認第3号	専決処分 令和8年度一般会計補正予算(第1回)(専決第3号) 令和7年度物価高対応子育て応援手当支給事業に係る国交付金の一部が、令和8年度事業としての交付となることから、これに係る事業費を早急に予算措置するため、令和8年3月31日、専決処分した。	
承認第4号	専決処分 税条例の一部を改正する条例(専決第4号) 地方税法などの一部を改正する法律の施行日に合わせ、専決処分により市税条例及の一部を改正する。	
承認第5号	専決処分 都市計画税条例の一部を改正する条例(専決第5号) 地方税法などの一部を改正する法律の施行日に合わせ、専決処分により市都市計画税条例の一部を改正する。	
承認第6号	専決処分 国民健康保険税条例の一部を改正する条例(専決第6号) 地方税法施行令などの一部を改正する政令の施行日に合わせ、専決処分により国民健康保険税条例の一部を改正する。	
第48号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任 令和8年7月18日をもって任期満了となる小林靖幸氏を、引き続き選任する。	同意
第49号議案から 60号議案	農業委員会委員の任命 令和8年7月19日をもって任期満了となるため、岩瀬吉彦氏、大塚孝氏、大庭清宏氏、岡田廣正氏、勝又純也氏、勝又富美子氏、河内昭二氏、塩崎賢治氏、杉山隆太氏、鈴木知華氏、土屋元就氏、渡邊博美氏を任命する。	

第61号議案	条例改正) 印鑑条例の一部を改正 出入国管理及び難民認定法などの一部を改正する法律の施行に伴い、個人番号カードの機能を持つ 特定在留カードなどの申請交付が開始されることから、多機能端末機などによる印鑑登録証明書の申請及び交付の利用ができるように、本条例の一部を改正する。
第62号議案	条例改正) 生涯学習センター条例の一部を改正 生涯学習センターの会議室の名称等を変更するため、本条例の一部を改正する。
第64号議案	条例改正) 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、非常勤消防団員などが公務などにより死亡した場合における 葬祭補償額を改定するため、本条例の一部を改正する。
第65号議案	訴えの提起 (共有物分割請求事件) 市道2-4号線 (堰原地先) 道路改築事業の道路用地及び代替地にかかる共有物分割請求事件に関する訴えを提起する。
第66号議案	市道路線の変更 岩波駅周辺整備事業 賑わい施設整備の実施に伴い、市道1823号線 (岩波地先) の起点の変更を行う。
第67号議案	物品購入契約の締結 (令和8年度東富士演習場周辺無線放送施設設置助成事業) 令和8年度 東富士演習場周辺無線放送施設設置助成事業により購入する、防災行政無線 戸別受信機2,500台を、契約金額1億1,660万円で(株)国際電気 静岡営業所と購入契約を締結する。
第68号議案	建設工事請負変更契約の締結 (市道1264号線橋梁上部工新設工事富士見橋北橋の設計変更) 令和8年2月議会に議決した、市道1264号線橋梁上部工新設工事 富士見橋北橋の設計変更に伴い変更契約を締結する。
第69号議案	建設工事請負変更契約の締結 (市民文化センター大ホール改修工事の設計変更) 令和7年6月議会に議決した、市民文化センター大ホール改修工事の設計変更に伴い変更契約を締結する。
第70号議案	令和8年度一般会計補正予算(第2回) 既定の予算総額から4,500万円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ245億1,200万円とする。また、債務負担行為補正により債務負担行為を追加し、地方債補正により地方債を変更する。主な内容は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者などの支援を目的とした 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の実施、土木費国庫補助金の内示に伴う事業内容と財源変更の対応、令和8年度国庫補助事業の採択がされた事業を予算化する。
第71号議案	令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回) 令和8年度 国民健康保険事業費納付額が県からの通知により確定したため、各項目間の増減調整を行う。
第72号議案	令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1回) 規定の予算総額に55万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ45億9,155万円とする。内容はシステム改修委託料。
第73号議案	令和8年度企業版ふるさと納税地方創生特別会計補正予算(第1回) 規定の予算総額に1億1,410万3,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億994万2,000円とする。主な内容は、国補助金の内示に伴う増額、及び損害賠償のための一般会計繰入金金の増額。
第74号議案	令和8年度水道事業会計補正予算(第1回) 資本的支出の既決予定額に300万円を増額し、資本的支出を6億400万円とする。内容は、車庫兼防災倉庫の設計委託料の増額。
第75号議案	令和8年度下水道事業会計補正予算(第1回) 資本的収入の既決予定額から405万6,000円を減額し、資本的収入を4億219万1,000円とし、資本的支出の既決予定額から411万2,000円を減額し、資本的支出を6億2,246万2,000円とする。内容は、社会資本整備総合交付金の減額による対象事業費の減額。
第76号議案	建設工事請負契約の締結 (東中学校、向田小学校からの転用工事 (機械設備工事)) 令和8・9年度 国庫補助事業により施工する市立東中学校、向田小学校からの転用工事 (機械設備工事) を、契約金額2億3,760万円で、(株)中川商店と請負契約を締結する。
第77号議案	建設工事請負契約の締結 (東中学校、向田小学校からの転用工事 (建築工事)) 令和8・9年度 国庫補助事業により施工する市立東中学校、向田小学校からの転用工事 (建築工事) を、契約金額6億8,640万円で、渡辺建設(株)と請負契約を締結する。
第78号議案	建設工事請負契約の締結 (運動公園陸上競技場トラック改修工事) 令和8年度市単事業 運動公園陸上競技場トラック改修工事を、契約金額1億3,979万9千円で、奥アンツーカ(株)東京支店と請負契約を締結する。
議員提出議案 第5号	議員派遣の件) 令和8年度 静岡県市町議会議員研修会 県内他市町の議員との交流及び議員としての資質向上を図るため、令和8年7月27日静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」に派遣する。
議員提出議案 第6号	議員派遣の件) 第31回2市1町議員研修会 同じ生活圏に共有する問題、課題などを認識し、理解することにより、議員としての資質の向上を図るため、名鉄菜館 (御殿場市) に派遣する。

原案可決

6月定例会で賛否が分かれた議案の概要と議員ごとの賛否内容

※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。議長 (井出 悟) は同数以外、採決には加わりません。

議席番号 議員名	① 則武優貴	② 小林浩文	③ 大橋勝彦	④ 土屋主久	⑤ 勝又豊	⑥ 浅田基行	⑦ 木村典由	⑧ 増田祐二	⑨ 杉山茂規	⑩ 中村純也	⑪ 佐野利安	⑫ 二ノ宮善明	⑬ 三富美代子	⑭ 欠員	⑮ 岡本和枝	⑯ 小林俊	⑰ 内藤法子	⑱ 勝又利裕	⑲ 井出悟	結 果
第63号議案	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	⑮	⑯	⑰	⑱	-	原案可決 賛成：16 反対：1

条例改正) 下水道条例の一部を改正

令和7年度上下水道事業審議会「下水道事業の健全で持続可能な経営を確保するため、下水道使用料の見直しが必要である。」との答申を受け、経費回収率100%を目指し、下水道使用料体系の再編を行うため、本条例の一部を改正する。

討 論

第63号議案 条例改正) 下水道条例の一部を改正

討論・採決の様子は
こちらからご覧いただけます。



物価高騰が常態化する中、これまで約4千万円を計上してきた基準外繰り入れを0円にし、下水道使用料16.4%引き上げに反対。地方公営企業法の「独立採算の原則」の考え方で行くと、下水道使用料は青天井となり、負担が増大する。基準外繰り入れは「公共の福祉」のための経費であり、支出することが問題とは言えない。【岡本和枝】

反対
です

賛成
です

下水道事業は、運営経費より使用料収入が少なく年間約4千万円を税で補っているが、下水道利用者以外にも負担を求める不健全な構造である。独立採算の原則に基づき、収入で経費を100%賄えるように収入と支出のバランスを整える事が必要。段階的な値上げや公平な負担となる料金設定など市民への配慮が見られる。【杉山茂規】

12人が一般質問で市政を問う



きむら のりゆき
木村 典由

1. マンホールカード事業の評価と展開

問 すそのんマンホールカードの配布開始から約5カ月。配布状況と来訪者の傾向、市内回遊への取組、今後の展開を伺う。

答 製作した8千枚中約6千枚を配布し、来訪者の約7割が県外からと認識。観光協会の案内で周遊も



イメージ図

生まれている。今後は駅西・岩波駅周辺整備に合わせ新デザイン蓋を検討し、御殿場線沿線連携も研究していく。

2. 岩波駅周辺の貯水槽整備を推進

問 給水空白地域である北部地域の岩波駅周辺整備事業区域内へ、埋設式耐震性貯水槽整備を積極的に推進すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 過去の整備実績と駅西公園での経験を踏まえ、令和9年度末までに岩波駅周辺整備事業区域内への埋設式耐震性貯水槽整備を目指す。空白地帯を解消し、給水車との連携で市全体の防災水利網を強化する。



おおはし かつひこ
大橋 勝彦

1. 電子図書導入のための広域連携

問 誰も取り残さない読書環境づくりを推進すべきでは。

答 電子図書の利便性を調査研究するとともに、近隣市町の導入状況や運用実績を情報収集し、広域連携の可能性についても検討する。

2. 健康文化都市を市民と育てよう

問 健康文化都市宣言に基づく市民参加型の健康づくりを推進すべきでは。

答 令和8年度、健康福祉部、建設部、水道部が連携して取り組んだ世界禁煙デー(5月31日)のイエローグリーンキャンペーンは健康文化都市を象徴する継続的な取り組みとして位置付けていく。今後は市民、企業、学校、地域団体、市役所が一体となり、「たすけあい」の輪を広げるとともに、健康マイレージ事業やイエローグリーンキャンペーンなど、市民が毎年自然に関わり、継続して参加できる取組をかさね、「地域の健康文化」として定着させていく。



かつまた ゆたか
勝又 豊

1. まちをつなぐウェルビーイング

問 人口減少下では、行政のみで価値を生み出す時代は終わったと感じる。ウェルビーイングの学びと対話の場を本市として積極的に設けるべきだが、見解は。

答 ウェルビーイングをまちづくりの羅針盤として位置づけ、行政、企業、市民が共通の価値観で連携すること

は、本市が持続可能な発展を遂げるために、極めて重要。実践を通じて市民や企業の人々と共に課題を解決し、幸福感を高め合う「共創」の文化を根付かせることも不可欠である。

2. 地域の幸福度をたかめるDX推進

問 本市のDX推進で、ウェルビーイング指標を活用し、政策の優先順位付けや効果検証に結びつける考えは。

答 住民アンケートによる主観的な指標と、国の統計データによる客観的な指標を統合し、地域の幸福度を「見える化」するこのデータは、市民の幸福度を高めるためのDXに活用できると考える。DXを単なる業務効率化の手段ではなく、市民生活の質を高める有効なツールとして活用したい。



みとみ みよこ
三富 美代子

1. 子どもを守る「生命(いのち)の安全教育」

問 子どもの人権と尊厳を守る「生命(いのち)の安全教育」を進めるため、外部講師のネットワーク構築や教育現場の仕組みづくりへの見解は。

答 子どもたち自身が自分の心と体を大切に、性犯罪の加害者・被害者にならないための「生命(いのち)の安全教育」を、段階的に進める体系的な指導体制の構築を検討し、

文科省・内閣府が作成した教材を活用していきたい。今後、外部講師の活用や教職員研修の充実を含め、第3期教育振興基本計画の中で、より充実した取組を検討していきたい。

2. 子育て世帯や保護者の負担軽減について

問 子育て世帯や保護者の負担軽減のため、「おむつのサブスクリプション事業※」、「おむつの無償支給」導入の見解は。

答 市内保育園、こども園などでの「おむつのサブスクリプション事業」は、今年度のなるべく早い時期に実施したいと考えている。「おむつの無償支給」は財源確保の観点も合わせて、来年度以降に検討していく考えである。

※おむつのサブスクリプション事業…保育施設において、月額定額の利用料を支払うことで、紙おむつとおしりふきが、使い放題となるサービスです。

12人が一般質問で市政を問う



おかもと かずえ
岡本 和枝

1. 裾野高校の存続のために何をすべきか

問 裾野高校存続のために、校友会の署名の取り組みなどに対して行政として何が支援できるか。

答 存続を求める声が単なる一団体の願いではなく裾野市全体の願いであることを県に対し強力に訴える。校友会などの団体と調整をはかり官民一体の協力体制へ繋げる。



ますだ ゆうじ
増田 祐二

1. 裾野高校の存続と若者の環境整備をどのように

問 廃校の方針を県が示す中で、「残したほうが良い」と考え直すような交渉戦略が必要だが、市立高校化の可能性を含めた見解は。また、若者の居場所のデザインは。

答 市単独ではなく、校友会や地域団体と連携し重層的に県へ計画の再考と説明の場を求めている。市立高校化は財政的・運営的に極めて困難であり、補助制度の検討も県

2. 一般競争入札のダンピング防止を

問 可燃ごみ等収集運搬業務委託の入札は、前回に続き今回も低入札価格調査が行われた。随意契約から一般競争入札になったことで、継続性・安定性に何ら問題のない事業者が不利益を被ることがあってはいけないが、見解は。

答 ダンピングは、単なる価格競争ではなく、品質の確保と労働者の適正な賃金水準の確保をおびやかすもの。過度な低入札で適正な賃金を支払えなくなれば、労働環境の悪化につながり、結果として業務品質の低下や安全性の懸念が生ずる。継続性と安定性も重要な課題。ダンピング防止策を実効性のあるものとして機能させる。

との協議が先決である。既存の公共施設を柔軟に活用し、学校の枠組みを超えて日常的・継続的に若者との連携の場を構築していきたい。

2. 観光戦略の現在地とこれからの展望は

問 目標観光客、年間300万人への進捗と、市民意見や専門的見地を取り入れた（仮称）観光戦略推進委員会を設置し役割分担していく考えは。

答 令和6年度は約148万人と道半ばであり、通過型から滞在型への転換へ向けた拠点整備や来訪者の回遊性の低さなどが課題となっている。委員会の必要性和有効性は認識しており、現在の体制を踏まえて、最適な形を検討していく。



こばやし ひろふみ
小林 浩文

1. 県立高校再編と裾野高校存続への取り組み

問 裾野高校の存続に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

答 県立高校の再編は若年層の市外流出、地域産業との連携機会の喪失など、本市の地域社会全体に多大かつ深刻な影響を及ぼしかねない。県教育委員会に再考を求め、地域住民や保護者、卒業生などに丁寧な説明の機会を強く要望

した。政治生命を賭けて取り組む決意、熱い思いは変わっていない。

2. 県管理河川からの農業用水の取水

問 芦湖水利組合は上郷、中郷、下郷で構成され、水利に關し多くの約束事が守られてきた。上郷に位置する当市は芦湖水利組合と協調し、関係住民からの原状復旧の要望の実施を積極的に県に働きかけるべきと考えるが、見解を伺う。

答 大洞堰やカラウト堰周辺を含めた現地状況の把握を進め、県に対して河川の原状復旧の必要性は、具体的な箇所を示しながら積極的に働きかけ、緊密に情報共有を行い、関係住民の意見も踏まえつつ必要な対応を検討していく。



つちや きみひさ
土屋 主久

1. 避難所における入浴環境について

問 避難生活による入浴機会の減少は、衛生状態が急速に悪化し、感染症や心身のストレスを招くことが危惧されている。災害時の入浴施設への対応を伺う。

答 災害協定に基づく民間の入浴施設の活用、自衛隊による入浴支援などの対応を考えているが、他自治体の先進事例などを参考に研究していく。

2. みなし仮設住宅への対応状況について

問 避難が長期化する場合の裾野市における「みなし仮設住宅」への対応状況を伺う。

答 「みなし仮設住宅」借上げ型応急住宅の確保は、1棟12戸を事前登録しているが、小規模な災害から大規模災害までの、段階的な被害想定に基づき、早期入居が可能な契約方式の事務手続きの整備も推進しながら、必要な登録戸数の確保を図っていく。

12人が一般質問で市政を問う



のりたけ ゆうき
則武 優貴

1. 空き家対策と地域活性化のまちづくり

問 空き家所有者や移住・定住希望者、地域、事業者をつなぐ総合的なプラットフォームを構築し、地域活性化につなげてはどうか。

答 事業者や地域団体を含めた多様なニーズに対応するマッチング機能を構築し、移住・定住や観光、産業振興とも連携したプラットフォームを目指す。また、行政書士

会、土地家屋調査士会、宅建協会と連携し、空き家対策を推進する。

2. 桜並木の維持管理と、今後の在り方

問 市道1-19号線において、樹木の健全度調査や危険木の把握など、計画的な管理手法を導入する考えはあるか、また、将来的な伐採や更新を視野に入れた検討を行っているか。

答 国のガイドラインを参考にしながら、職員による点検を行い、専門家による判断が必要な樹木に対して調査の実施を検討していく。将来的な伐採や更新を視野に入れた検討は、老朽化や安全に支障をきたす樹木を中心に進めていきたいと考えている。



あさだ もとゆき
浅田 基行

1. 両副市長の令和8年度ミッションについて

問 前副市長と比べ両副市長の持つ強みと補うべき点は。

答 これまでも、それぞれの専門的知見を有する副市長を配した市政運営体制を構築してきた。現体制においてもその方針を継承しつつ、民間企業のイノベーションの視点を持つ大西副市長と、行政運営の安定と重要政策の着実な実行を担う赤堀副市長の両輪が、互いに連携し役割を補完し合

うよう進める。

2. 公立認定こども園と誰でも通園制度の状況は

問 公立認定こども園の開園後の状況と誰でも通園制度の状況は。

答 幼稚園ではなかった給食が開始されたことへの喜びの声がある一方、幼稚園では降園後に園庭で遊ぶなくなったという意見もあり、今後も園児の様子や保護者の意見を聞きながら円滑な園運営に努める。また、こども誰でも通園制度では、5月末時点で延べ49名の利用実績で在宅育児家庭が最も多い傾向にある。



ないとう のりこ
内藤 法子

1. 高齢者バス・タクシー助成券の増額を

問 バス・タクシー利用助成券のアンケートでは、金額の増額を希望する声が多く寄せられている。今後のあり方を問う。

答 6月議会で、国の物価高騰交付金を活用し、3,000円の追加支援を上程し、合計5,000円の支援になるが、今後

のあり方として、令和8年度の予算編成に向けて増額を前向きに検討する。

2. AI活用で予算査定業務の効率化を

問 予算査定業務にAIを導入することで、職員の負担軽減と業務の効率化を図ってはどうか。

答 AIの活用は人材不足を補い業務の効率化と高度化を進める上で活用の検討をする時期にきている。導入に向けた可能性を積極的に探り、職員が政策判断に集中できる環境を整える。



こばやし しゅん
小林 俊

1. 有機食品の学校給食への取り入れは可能か

問 有機農業は自然環境に優しくSDGs達成にも貢献し、有機食品の学校給食への取り入れは諸々メリットがある。教育の面、地域振興の面からどのように捉えているか。

答 学校給食は生きた教材で、有機食品の取り入れは自然環境、生物多様性、持続可能な農業への関心を深めるメリットがある。が、市内の有機食品の生産量は限定的で、

材料価格、保護者負担の面からも給食への取り入れは難しい。有機農業は、地域農業振興と環境保全の面から、引き続き取り組んでいく。

2. 有名な実証実験都市の存在を活性化に繋げよう

問 ウーブン・シティの存在を、多方面から活性化に生かして行きたい。種々の実証実験など緊密な連携をお願いしていくことが重要だが、どう考えるか。

答 定期的な打ち合わせを通じて連携を図っている。周辺地域や市街地における社会実験が極めて有効であると考え。信頼関係を維持しながら、最大限の成果を得られるよう、慎重かつ効果的な関係を維持していく。

傍聴いただきありがとうございます

今回は42人の方が傍聴されました。
いただいたご意見の一部を紹介します。

市民は「市がこういう風になってほしい」と
思うだけでなく、市議会議員に市民の声を伝
え、市政に反映してもらう必要があると感じ
ました。 20代 女性

市長、議員、職員が積極的に発言されており、
政治の役割とその効果を実感することができ
て面白かったです。 10代 男性

人命、財産を守る為、防災士や災害ボランティ
アの人材を活かしてほしいです。一人一人が災
害に関心を持ち、助け合い、協力しあう活性化
する地域づくりを目指したいです。 80代 女性

全国市議会議長会表彰



長年にわたって議員活動が続けられた2名に
対し、表彰伝達式が行われました。

内藤 法子議員 20年
二ノ宮 善明議員 15年

令和8年9月定例会(予定)

※予定は変更する可能性があります。

8月13日	木	本会議	10:00～	8月26日	水	予算決算委員会	13:30～
8月17日	月	本会議	10:00～	8月27日	木	予算決算委員会 (総務分科会)	9:00～
		予算決算委員会	本会議終了後	8月28日	金		
8月18日	火	予算決算委員会 (総務分科会) 総務委員会	9:00～	8月31日	月	本会議	10:00～
8月19日	水	予算決算委員会 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	9:00～	9月1日	火	予算決算委員会 (厚生文教分科会)	9:00～
8月20日	木	予算決算委員会 (産業建設水道分科会) 産業建設水道委員会	9:00～	9月2日	水		
8月21日	金	予算決算委員会 (現地視察)	13:30～	9月3日	木	予算決算委員会 (産業建設水道分科会)	9:00～
8月24日	月	本会議(代表質問)	10:00～	9月4日	金		
8月25日	火			9月7日	月	本会議(一般質問)	10:00～
				9月8日	火	本会議(一般質問)	10:00～
				9月9日	水	予算決算委員会	本会議終了後
				9月14日	月	本会議	10:00～

議会だよりNo163に誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

14頁 令和7年度 意見交換会の実績

11月16日(日) 生涯学習センター 参加市民:20人 出席議員:13人
11月20日(木) 裾野市役所 参加市民:11人 出席議員:16人
11月21日(金) 須山研修センター 参加市民:20人 出席議員:12人

編集委員

- 委員長……増田 祐二
- 副委員長……勝又 豊
- 委員……三富美代子
二ノ宮善明
杉山 茂規
則武 優貴

9月27日告示、10月4日投開票の日程で、裾野市議会議員選挙が行われます。

編集後記

「議会だよりすその」を第157号から本号(第164号)まで編集委員として広報広聴委員会が担当しました。広報活動として、紙面制作は、審査や議決の内容が皆様に伝わるよう協議を重ね、紙面の制作を行なってきました。また、広聴活動として意見交換会のほかに新たにシギトークといった取り組みも開始し、多くの場面で市民の皆様からご意見をいただくことができました。これまでの間の裾野市議会の活動にご理解・ご協力いただきましたことに、委員会一同、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。 広報広聴委員会

議会だよりすそのでは、誰もが「見やすく、読みやすい」ように細かい部分に配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。

発行●裾野市議会 静岡県裾野市佐野 1059 編集●広報広聴委員会 ☎055-995-1839(直通)
Eメール●gikai@city.susono.shizuoka.jp 印刷●ナポー株式会社

市議会の改選に伴い、次回発行は改選後の第2回臨時会関連の内容になります。

会議録検索システム

